

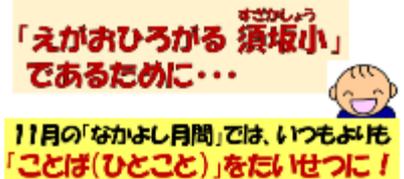


# みすどかる

住所:須坂市須坂 780  
印刷:須坂小学校職員室  
発行責任者:竹村信之(校長)

## 「なかよし月間(11月)」の学校生活から ～「ことばを大切に」「あいてを大切に」～

11月の「なかよし月間」を迎える前に、「たった一言が人の心を傷つける  
たった一言が人の心を暖める」ということばを紹介し、「ことば(ひとこと)を  
たいせつに」と呼びかけました。11月以降の生活の中でたくさん見られたキラリと光る姿を、11/24の校長講話でお話して全校で共有しました。



**11月のなかよしの花** 6月に続き、今回も友達のいいところ、  
友だちへの感謝の言葉でいっぱいです。例えば、「いつも「おはよ」っ  
ていって来てくれてありがとう。きもちのいいあいさつありがとう。」  
あいさつひとつで気持ちがよくなりますね。「いつもまじめに話をきいて  
くれてありがとう。まいかいそうだんにのってくれたり、いけんを  
だしてくれたり、しつもんにぜんりよくで考えてくれてありがとう。」  
本気で自分の話を聞いてもらえる、これもうれしいですね。「はんで  
かつどうするとき、わからないことをおしえてくれてありがとう。  
また、おしえてください。わからなくなったらおしえてあげる。わたしにきいてね。」一緒に勉強し  
ているいい姿ですね。こんな「ありがとう」がいっぱいのなかよしの花です。



### 音楽会の感想を伝え合う

11/2の音楽会、コロナ対策で2学年ずつ発表を聴き合いました。みんなの練習の成果が発揮されたとってもいい音楽会でした。「すばらしいなあ」と思ったのは、音楽会の後、自分の発表の感想だけではなく、他の学年の発表を聞いた感想を届け合う姿。1年生から6年生まで、それぞれのクラスに、たくさんの感想が寄せられていました。支援学校の皆さんにも届け、支援学校のにじ組さんからのメッセージも届きましたね。



すばらしいすがた かんどう 感想をとどける



一部を紹介します。6年生に「合唱の広い空の下で、  
で高い音と低い音がちゃんと聞こえました。とてもきれいな声で心があたまりました。鼓笛のMr.インクレディブル」は迫力があってかっこよかったです。私も6年生みたいにひきたいです。」4年生に「林の朝は、  
頭の中にその様子が浮かんできました。カイトは迫力があって、見ていてとてもおもしろかったです。運動会のことを思い出しました。」1年生に「歌がとても元気で、  
こちらまで元気で楽しくなりました。」などなど。

これらの感想、みんな自分の感じたことを自分のことばでしっかり伝えていてすばらしいですね。



みんなの聴く姿も本当にすばしかったです。しっかり聴く、というのは相手を大切にしている姿の現れです。真剣に聴いたからこそ、温かいメッセージが書けたのですね。

真剣に聴いて、よいところを伝える。受け取った方も、うれしい! やったー! という気持ちになり、また頑張ろう、もっとやろうという意欲につながります。感想の伝え合い、これからも大切にしていきたいと思います。



### 小学部の「アイタイ!」も盛り上がりました

支援学校小学部の演奏は「アイタイ!」。朝の会で歌ったり、手作りで楽器を作ったりして準備・練習を重ねてきました。当日は練習以上にパワフルに笑顔で演奏できました。小学校の皆さんも拍手をしたり体を動かしたりと、一緒に盛り上げてくれました。



～感想から～

「自分だけの楽器がキレイな音できこえてきました。だれかにあいたい、という気持ちが伝わってきました。」  
 「みんなの声やオリジナルの楽器の音がよくきこえてきました。楽しい気持ちになれる歌をきいているうちに、自分も手をたいて、声を出していました。」

### 授業の中で「相手を大切にする」

各学年の授業を参観する中で、「授業の中で相手を大切にする」場面がたくさん見られました。

一つは、発言している人の方にしっかりと体を向けて聴いている姿です。「聴」という漢字は、「耳」+「目」「心」でできていますが、まさに耳で聞くだけでなく、目で相手を見て、心を傾けて聴いている児童の姿が多く見られました。もう一つは、先生が配るプリントを回すときに、ちゃんと後ろの席の人を見て(中には声もかけて)、プリントを手渡しする姿です。いつもこうした「相手意識」をもって行動できるのは素晴らしいことですね。



### お互いを大切にして学び合う

各教室では、1学期に比べて、「友だちと意見交換する姿」が多く見られます。「となりどうして」「近くの人と」「グループで」「同じ意見の人と」というように、2人から数人まで、人数はいろいろですが、まずは自分で考え、友だちと話し合う中で、自分の考えを伝えたり相手の考えを聴いたりしながら、その考えを比べ合い、さらに新たな考えを加えたりしながら、まとめていく。こうした友だちとの対話を通して多様な考えから探求していく「学び合い」、これからも大事にしてほしい姿です。

授業のなかで「**おたがいを大切にして学び合う**」

① **まず自分で考える**

② **話し合う** 自分の考えを「つたえる」  
相手の考えを「きく」  
**学び合う** 比べる  
まとめる

考えが「たしかになる」「ひろがる」「ふかまる」  
あたらしいことに気づく



# 11月は、学年・学校を超えていろんな交流がありました

## なかよし清掃



11月は、1・6年、2・5年、3・4年の2学年ずつと一緒に掃除をする「なかよし清掃」を実施しました。上級生の真剣に掃除をやる姿、隅々までいねいに掃除をする姿、優しく教えてくれる姿などに刺激を受け、下級生の掃除の姿も劇的に向上しました。異学年との学び合いの大切さを改めて感じました。

以下2年生の感想です。



「5年生は、いろいろ細かいところまで掃除してる。」  
「5年生が2年生のペースにあわせてくれている。やさしいと思った。」  
「ぼくが、新しい場所でどうやって次に掃除するか困っている時に教えてくれて、うれしかった。」  
「5年生はしゃべらずに、すみからすみまでほうきや雑巾をされていてすごいと思った。」

## 支援学校とプレイルーム交流

2時間目休み(通称「なかよしタイム」)に、小学校1・2年生が4~5人ずつプレイルームで支援学校小学部のお友達と一緒に遊んでいます。「いれて」「いっしょに」などと声を掛け合いながら元気よく遊んでいます。

- ・しえん学校の人がブランコをしていたのでゆらしてあげたら、よろこんでくれたのでうれしかったです。
- ・プレイルームでトランポリンをしえん学校の人とできてうれしかったです。でっかいボールがあるところでもしえん学校の人とあそべてうれしかったです。
- ・ちきゅうブランコをしえん学校の子とやって楽しかったです。またいっしょにやりたいです。

今後も交流を深め、「〇〇さんといっしょに遊んだよ」「◇◇さんは～がすきなんだ」というように、互いに名前を呼び合いながら交流できるようになるといいな、と願っています。



## 6年生が企画・運営したキッズフェスティバル

11月30日には、6年生が企画運営する「キッズフェスティバル」が行われました。児童会の各委員会ごとに7つの会場に分かれ、児童会キャラクター「スザカザス」のメンバーが、説明・運営してくれました。小学校・支援学校小学部みんなが楽しむことができた、素敵なひとときとなりました。



アルミ缶リレー



ブックトレジャー&ブックナンバーゲーム



正しく分けよう 分別ゲーム



保健スーパーゲーム(豆つかみ)

支援学校の児童もみんな参加して楽しみました

## 中学部生活単元学習「みすずまつり」大盛況!!

支援学校中学部では、10月～11月に「みすずまつりをたのしもう」というテーマで生活単元学習を行いました。中庭に昨年度「みんなのひろば」が完成してから初めての大きな行事。「みんなで作って楽しんで、さらにお客さんを招待し楽しんでもらおう!」と、おまつりの企画・制作・運営に、生徒・職員みんなで力を合わせて取り組んできました。

お祭りマンボに合わせておみこしの登場、ダンスを楽しんだ後は、自分たちで考え、分担して準備してきた遊びのコーナーを運営し、お客さんに楽しんでもらおう、という流れです。最後の週は、小学部の皆さんや常盤中学校の支援学校の皆さん、保護者の皆さんにも参加して楽しんでもらうことができました。



たくさんのお客様で大にぎわい



おみこし「ワッショイ」



回転テーブルで「クッキータワー」に挑戦



足湯「さきのゆ」気持ちいい～!



射的にチャレンジした景品はお面です

## ギタリスト川崎昭仁さんの講演&ライブ



11/19(金)には、ギタリストの川崎昭仁さんの講演&ライブがありました。川崎さんは、東京パラリンピックの開会式で布袋寅泰さんと一緒に演奏し、その雄姿が世界中に放送された方です。

高校1年生の時に足でギターを弾く姿をテレビで見て、「カッコいい!!」「足で弾けるんなら、自分の手でも弾けるかな」と思いギターを始め、どうやったら弾けるか考えいっぱい練習したそうです。「ギターが、障がいがあることを気にしていた自分を変えてくれた」という川崎さんは、パラリンピック開会式に参加した経験から、

「あの会場には、車椅子だけでなく、目や耳、その他いろんな障がいのある人がたくさんいた。そして、障がいのない人もたくさんいた。ギターを弾く人、踊る人、走る人・・・みんなが自分の役割を果たすことで、あれだけの大きなショーができた。多様な人を認め、一緒にやっつていこう、と思える式になった」「両腕のない人がバタ足だけで泳ぐ、すごくない!? 目の見えない人が何であんなに速く泳げるの? 一番すごいと思ったのは、ラケットを口でくわえてプレーするインドの卓球選手。みんなもできないこと、苦手なことはある。得意なこと、できることをがんばっていけば道は開ける!」と熱く語ってくれました。その後、ボーカルの Rikizoさんと一緒に、「コナン」や「鬼滅の刃」の主題歌等の演奏をしてくれ、体育館は熱気に包まれました。プロのギタリストの演奏は、ただただ「カッコイイ」姿、子どもたちも体を動かし拍手をして楽しんで、あっという間に終了時間。自分の道を切り開いている川崎さんの姿に、あこがれや、たくさんの勇気・前向きに取り組むエネルギーをもらえた1時間でした。

午後は5年生が川崎さん・Rikizoさんとゲームをしたり、質問コーナーで楽しい時間を過ごしました。電動車椅子で、子どもたちの乗った車椅子を引っ張ってもらったり、5年生から歌や合奏をプレゼントしたりするなど交流を深め、親しみやすく気軽に子どもたちに話しかけてくれる川崎さんに、「また来てほしい!」と願う子どもたちでした。

